

平成 28 年 11 月 18 日
伊勢志摩サミット推進局
サミット総務課

「伊勢志摩サミット三重県民宣言（仮称）」の検討状況について

「伊勢志摩サミット三重県民宣言（仮称）」については、現在、骨子案について、県民の皆さんからいただいた意見を踏まえ検討を進めているところです。

今後、11月27日（日）の「伊勢志摩サミットを契機とした県民活躍シンポジウム」での発表を予定しています。

1 意見聴取の状況

(1) 懇話会

① 「一般部門」（サミットで活躍した県民代表、公募委員の計 20 名）

ア 開催日 10月19日（水）13：30～16：30

イ 内容

伊勢志摩サミットの成果・レガシーを共有したうえで、宣言骨子案や、一人ひとりが三重の未来に向けどのような具体の行動をしていけばよいかという点について、参加者による意見交換や議論を行いました。

ウ 主な意見

- ・サミットに関して県民の成功感、達成感を宣言に盛り込むべきである。
- ・三重が誇りうるおもてなし文化を高めていくべきである。
- ・「和の文化」は「おかげさまの文化」としてはどうか。
- ・県民として三重の文化を知ることが必要である。
- ・「平和」を安全安心だけにしてはどうか。
- ・骨子案にカタカナが多いのではないかと（ポテンシャル、レガシー、アクティブ・シチズン）。
- ・言葉が難しい。「親和」など骨子案では「和」にこだわってはいないか。 など

② 「若者部門」（「2016 大学生国際会議 in 三重」参加者有志 8 名）

ア 開催日時 10月22日（土）13：30～16：30

イ 内容

伊勢志摩サミットの成果・レガシーを共有したうえで、宣言骨子案や、一人ひとりが三重の未来に向けどのような具体の行動をしていけばよいかという点について、参加者による意見交換や議論を行いました。

「一般部門」とは異なる若者ならではの意見が多く出ました。

ウ 主な意見

- ・「次世代に引き継ぐ」や「知恵をいかして」という部分は年配者の表現だと思う。
- ・「おかげさまの精神」を知らない若者は多いと思うので、具体的に表現するべきである。
- ・「平和」は大ごとと感じる。「平和」とはどのような状態をいうのか。

- ・母なる地球ではなく、自分を地球のあらゆるものの母ととらえて地球を大切にしていきたい。
- ・郷土への愛着を高めるため、地域の行事に積極的に参加していきたい。
- ・国内外での認知を高めるため、まず自分が伝統・文化に触れて、その良さを感じていきたい。
- ・自分ができる小さなことから環境保全のために行動を変えていきたい。
- ・三重らしい言葉が欲しい（伊勢湾、伊勢神宮など）。 など

③「行政部門」

ア 開催日 11月7日（月）13：45～15：20

イ 内容

以下について意見交換を行いました。

- ①宣言骨子案全体への意見
- ②宣言骨子案の決意部分への意見
- ③宣言をベースに県民と協創し、県民の行動、活躍を後押しするため、今後行政として何ができるかについての意見

ウ 主な意見

- ・わかりやすい表現を使って欲しい。横文字が多い。
- ・どこの県でも置き換えられる内容になっていないか。三重らしい宣言にするべきである。
- ・サミットらしさが読み取りにくい。
- ・三重らしい表現は、「おかげさま」くらいしかない。
- ・「おかげさまの精神」がわかりにくい。伊勢の文化であり、県民全体の理解を得ることができるか。
- ・「平和」が大きすぎる。
- ・継続性が必要であり、行政としてのサポートが必要である。
- ・県民との協創のために、国際的取組などについての学習機会の提供が必要である。
- ・県民を後押しする仕組みづくりを県民の声を聞きながら行う必要がある。 など

（2）個別の意見聴取

障がい者の方やジュニア・サミット参加者からの意見聴取も実施しました。

（3）県民からの意見募集

10月6日から31日までSNS（県民会議 Facebook）等による意見募集を実施しました。

〔参考〕意見内訳一覧

①懇話会

	参加者数	骨子案への意見			行動への意見	合計
		全般	決意	小計		
懇話会「一般部門」	20名	28件	77件	105件	124件	229件
懇話会「若者部門」	8名	1件	35件	36件	53件	89件
懇話会「行政部門」	16名	15件	50件	65件	47件	112件
計	44名	44件	162件	206件	224件	430件

②県民からの意見募集等

	意見者数	骨子案への意見			行動への意見	合計
		全般	決意	小計		
SNS	16名	2件	0件	2件	15件	17件
メール、FAX等	52名	49件	3件	52件	50件	102件
個別意見聴取	8名	3件	3件	6件	11件	17件
計	76名	54件	6件	60件	76件	136件

③合計 (①+②)

	参加及び意見者数	骨子案への意見			行動への意見	合計
		全般	決意	小計		
合計	120名	98件	168件	266件	300件	566件

(4) 職員アンケート

10月18日から11月7日まで実施した職員アンケートについては、224名から意見をいただきました。

2 今後の予定

県民等からいただいた意見を参考に、一人でも多くの県民が自分の宣言であるとの実感を持つことができる内容をめざして宣言文を検討していきます。

11月下旬 関係部局への確認依頼

11月27日(日) 宣言発表

平成28年11月18日
伊勢志摩サミット推進局
サミット総務課

伊勢志摩サミット記録誌の刊行予定について

1 概要

伊勢志摩サミットの記憶を後世に引き継ぐため、サミットの準備段階から開催経過、県民会議や市町の取組などを記録誌として刊行します。記録誌は、県民会議へご支援いただいた方々や、関係機関等へ配付します。

2 予定

11月25日（金） 記録誌の刊行を報道発表

27日（日） 「伊勢志摩サミットを契機とした県民活躍シンポジウム」の会場にて、閲覧コーナーに記録誌を配置

発表日以降、12月15日（木）までに順次発送

3 作成部数及び構成

部数 4,000部

構成 ・本冊（モノクロ）421ページ ・写真集（カラー）75ページ
・記録映像DVD 23分 ・本冊、写真集、DVDをケースに収納

4 記録誌内容

序文・あいさつ

第1編 サミット概要

第1章 G7サミットの概要 第2章 伊勢志摩サミットの概要 第3章 配偶者プログラム

第2編 サミット開催に向けて

第1章 誘致 第2章 体制

第3編 県民会議等の取組

第1章 概要 第2章 開催支援 第3章 おもてなし 第4章 明日へつなぐ

第5章 三重の発信 第6章 市町の取組 第7章 広域の連携

第8章 警備・消防・保健医療 第9章 ポストサミット

第4編 予算・決算

第1章 県民会議事業の予算・決算 第2章 行政事業（伊勢志摩サミット関連予算）

資料編

5 送付先

寄附者、協賛事業者、県民会議会員等、県議、市町、各事業協力事業者（配偶者プログラム・食材等提供・情報館・プレスツアー・ジュニアサミット・その他）、国・他県等、県各部局（所要部数調査に基づく）、県内図書館、県内学校（小学校から大学）、その他

平成 28 年 11 月 18 日
伊勢志摩サミット推進局
サミット総務課

サミット協力宿泊施設経営向上支援補助金について

1 目的

伊勢志摩サミット開催にあたり、関係者の宿泊確保・調整に協力した宿泊施設が、サミットを機に一層の経営向上を図るため、サミット後の経営環境に即した集客力や生産性の向上、高付加価値化などに取り組むことを支援します。

2 支援対象

伊勢志摩サミット宿泊予約センターによるサミット関係者の宿泊の確保・調整業務に協力した宿泊施設（約 300 施設）で、今後の経営向上に向けた取組を行う意欲のある中小企業・小規模企業。

（三重県版経営向上計画ステップ 2 又は 3 の認定を受けていること）

3 補助額 上限 100 万円（下限 50 万円、補助率：定額）

4 予算 3,000 万円

5 事業実施スケジュール

7 月 1 日 募集開始
8 月 19 日 第 1 次申請締切 → 9 月 5 日 交付決定
10 月 20 日 第 2 次申請締切 → 11 月 7 日 交付決定
2 月 15 日 実績報告書提出締切 → 年度内に完了検査・額確定・支払い

6 審査項目

- (1) 必要性：サミット関係者の宿泊確保に協力する中で、想定外の事態や集客への影響など対応すべき課題が生じているか。
- (2) 目的性：サミット後の経営環境に対応し、経営向上を図るために適切な取組であるか。
- (3) 実現可能性：事業計画は具体的で、実現可能性が高いものとなっているか。
- (4) 有効性：投資効果がどれだけ見込めるか。経営全体への影響の大きさ、費用対効果はどうか。
- (5) 合理性：事業実施に必要なかつ適切な事業積算となっているか。

7 実施状況

	第 1 次申請	第 2 次申請
申請件数	<u>35 件</u> (鳥羽市：20、志摩市：11、 四日市市、亀山市、木曾岬町、 大台町：各 1)	<u>35 件</u> (志摩市：12、鳥羽市：11、 伊勢市：6、津市：3、菰野町：3)
交付決定件数	<u>21 件</u> (鳥羽市：13、志摩市：6、 亀山市、大台町：各 1)	<u>9 件</u> (鳥羽市：7、志摩市：1、 伊勢市：1)
交付決定額	<u>20,925 千円</u>	<u>9,000 千円</u>